

(様式1)

2026年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|---|--|
| (整理番号) 021 | 提案機関名 湘南農業協同組合 |
| 要望問題名 カキのジョイント栽培の経済性指標作成について | |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 当JA管内は、ナシ、ブドウ、カキ等の果樹が栽培され、生産者も多く、有数の産地である。しかしながら、老木樹も多く、今後、更新作業が必要となる。本県で開発されたジョイント栽培は、ナシを始めとして多くの果樹で研究に取り組み、カキについては、福岡県でV字ジョイント樹形の研究を実施されている。いずれも、早期成園化や省力化・軽労化技術として全国でも高い評価を得ている。 当JA管内で、カキのジョイント栽培を導入した生産者がおり、また、新たにカキのジョイント栽培の導入を検討している生産者もいる。 今後、カキのジョイント栽培の普及のため、導入のための指標が必要となる。そこで、カキのジョイント栽培の経済性指標の作成について検討願いたい。 | |
| 解決希望年限 | ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | <input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター |
| 備考 | |

| | | | |
|---------|---|------|-------|
| 回答機関名 | 農業技術センター | 担当部所 | 企画経営部 |
| 対応区分 | ①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可 | | |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合) | | |
| 対応の内容等 | カキのジョイント栽培については、導入農家が少なく、現時点では本県での標準的な経営収支及び作業時間を掲載する経済性指標の作成は困難です。カキのジョイント栽培の主流となるジョイントV字トリス樹形仕立てを導入検討する際には、「省力樹形樹種別栽培事例集（第2版 農研機構）」の年間労働時間の削減と経営試算をご参照ください。 ※省力樹形樹種別栽培事例集（第2版 農研機構）内のデータは、福岡県農林業総合試験場研究報告 10（2024）「カキのジョイントV字樹形の「早秋」および「富有」への適用」からの抜粋です。 | | |
| 解決予定年限 | ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 | | |
| 備考 | | | |